

9月のびびりム

いじめ根絶を考える

9月2日、町民センターで安平町いじめゼロ子ども会議が行われました。

会議では、「いじめを無くす方法」をテーマに、2グループに分かれ意見交換を実施。その後、出された意見をまとめ、相手を知ることの大切さから「知」、思いやりやまとまりを意味する「絆」という字が、いじめ根絶に向けたキーワードとして各グループから発表されました。



まつりの収益金を寄附

9月4日、安平ライオンズクラブ（会長 田村興文）より安平町社会福祉協議会へ、うまかまつり収益金が寄附されました。

目録を手渡された安平町社会福祉協議会荒木会長は、同クラブの日ごろの慈善活動に敬意を表するとともに「有効活用させていただきまます。」と感謝の言葉を述べました。



合同秋祭りを開催

9月5、6日の両日、ケアハウスサックル、町デイサービスセンターサックル、町高齢者グループホーム合同の秋祭りが開かれ利用者や入所者、地域住民など延べ296人が来場。

追高生や婦人団体がボランティアで駆けつけ、対決ゲームやカラオケのほか、プログラムにない盆踊りなどで会場は盛り上がり、溢れるほどの笑い声が響く2日間となりました。



いざという時に備えて

9月9日、消防署安平支署は心肺蘇生法やAEDの使用法についての普通救命講習会を開催。参加者からは「AEDに初めて触った。事態に直面する前に学べて良かった」と声を聞くことができた」と。同日、胆振管内で初めて防災ヘリを運航した北海道防災航空隊と胆振東部消防組合特別救助隊による合同訓練も行われ、万が一への備えの重要性を感じさせる1日となりました。



本物の音色を体感！

9月10日、はやきた子ども園で、保護者会が企画する和太鼓鑑賞会が行われました。

この企画は、子どもたちに本物の音色を聞いてもらおうということから、安平町出身の和太鼓奏者しんたさんと三味線奏者の新田昌弘さんが来園し実現。

演奏が始まると子どもたちは、手拍子やリズムに合わせ体を動かしながら、和太鼓や三味線が奏でる音色を楽しんでいました。

